

第一病院

「地域密着」掲げ たゆまぬ努力
人と環境に「優しい病院」目指す
来年7月には新複合施設開設
地域住民の健康増進にまい進

「地域密着」をモットーに掲げ、地域に根ざした医療を提供している福島第一病院

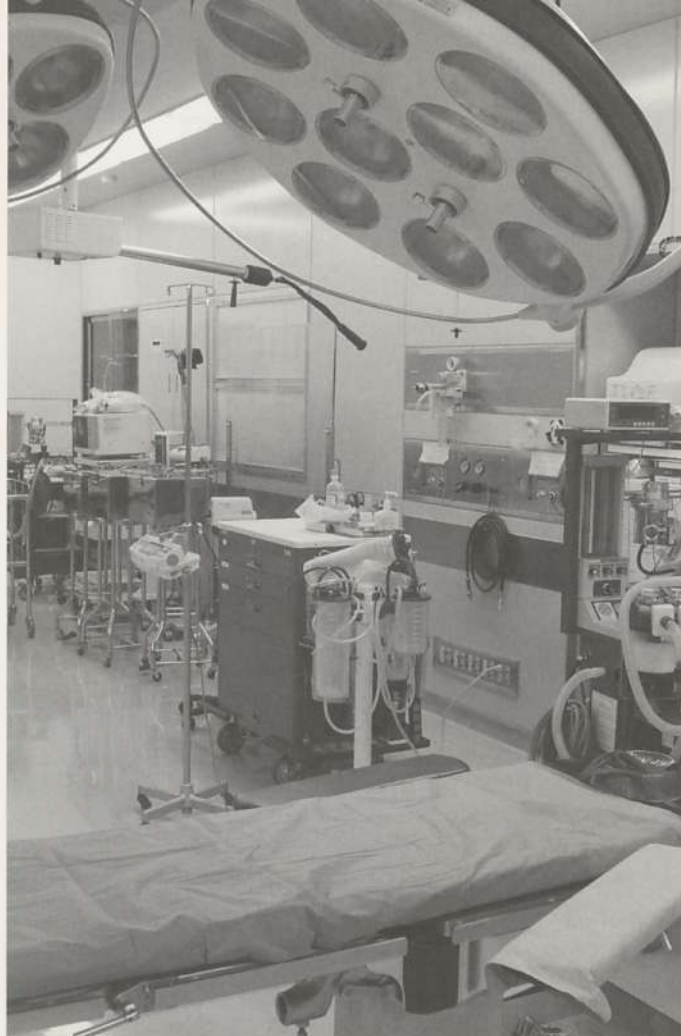
福島市

特定・特別医療法人
福島第一病院

福島市の北西部に位置する特定・特別医療法人福島厚生会福島第一病院（星野俊一理事長、千葉勝実院長、許可病床285床）は、開院以来一貫して「地域に開かれた病院」をモットーに掲げ、地域住民の健康回復・増進に寄与してきた。来年7月には、同法人が市内の別の場所に、診療所、介護老人保健施設、メディカルフィットネス施設などが入る複合施設が完成。生活習慣病予防から介護までの一体的な提供を目指す。



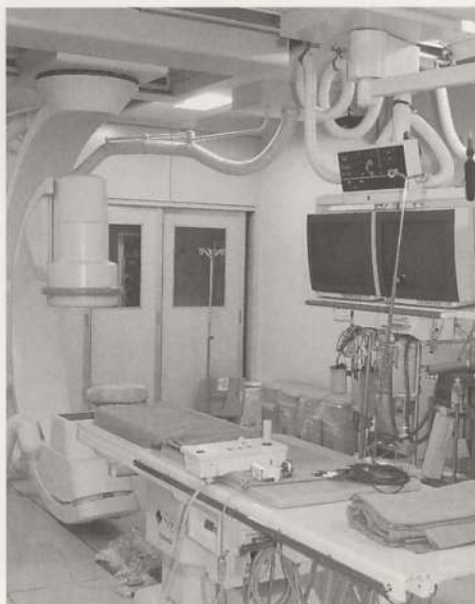
病院の屋上に設置された巨大な太陽熱ソーラー装置。院内の熱の大半をソーラーシステムで賄い、環境負荷軽減に寄与している



年間約600件の手術が行われる



来年7月に完成する複合施設「ホリスティカかまた」の完成予想図。予防、医療、介護を一体的なサービスとして提供することを目指す



シネアンギオは、1989年の導入以来年間300件の心血管系手術に用いられている

診療所、老健やメディカルフィットネスなどの複合施設を開設 予防、医療、介護を一体的に提供

福島市鎌田地区では、同法人が来年7月に開設する複合施設「ホリスティカかまた」の建設工事が進む。市内の別の場所にある診療所を新複合施設内に移転させる上、100床の介護老人保健施設、生活習慣病予防に向けたメディカルフィットネス施設などを備える。老健施設では在宅復帰に向けて積極的支援に取り組むほか、診療所では生活習慣病予防のためのアンチエイジングドックや健診を行い、メディカルフィットネス施設では予防と健康増進に効果的な運動を指導し、予防から入院、療養までを一体的に提供できる環境を整える。「今後の医療は疾病を未然に防ぐ予防に力を向けて

いかなければならない。新しい施設で効率的に住民の健康増進を図りたい」。星野理事長は表情を引き締める。

生活習慣病医療を中心に 地域住民の健康を守る

福島第一病院は1973年、前身である結核療養所の信夫ヶ丘病院が移転する形で現在地に開院した。それ以来、同法人がJR福島駅近くに66年に開設した厚生会クリニック（旧・福島厚生会病院）とともに、福島市民を中心とした地域住民の医療を担い続けている。

特に力を注いできたのが、星野理事長の専門分野である心臓血管医療だ。89年の心臓血管外科開設以来、年間300件の手術と400件の心臓血管造影を実施している。QOLをおびやかす

下肢静脈瘤の治療には1泊入院で済む最新のレーザー治療を積極的にとりいれている。また、生活習慣病に対応する一般内科、消化器内科のほか、膠原病外来を開設している。千葉院長は年間200例前後の関節リウマチ、骨折の治療にあたり良好な成績を取っている。

積極的な地域活動を展開 環境負荷軽減に太陽熱ソーラーも設置

地域住民の健康増進活動にも前向きだ。最近3年は、地元新聞社が主催する年1回の健康フォーラムに全面協力している。病院での公開講演会も好評だ。

医療の質に対する住民の信頼を高めてもらうため、2002年にISO9001、03年に日本医療機能評価機構の認定を受けた。星野理事長は、「地域にとって良



作業療法室にはリハビリのために取り組んだ作品が数多く展示されている



和やかな雰囲気の中にも緊張感が漂うナースステーション



ほしのしゅんいち
星野俊一理事長

地域住民に安心、安全を届ける医療の質は職員のモチベーションに負うことが多い。毎月1日全体朝会では法人の理念「生命の尊厳、患者様の権利の遵守、人間愛・奉仕そして感謝」を副院長の発声で唱和している。生活習慣病人口が5600万人超の現代では、その予防対策が大きな課題となっている。アンチエイジング医療をテーマとする各種ドック、メディカルフィットネスなど老健を含む複合施設の完成を楽しみにしている。



千葉勝実院長

い病院は、第三者の評価に耐えられるものでなければならない」と話す。最近では、各部署の課題を洗い出し、優秀な分析をした部署を表彰する発表会を開催するなど、質の向上に継続的な努力を進めている。

さらには、病院の屋上に東北地方最大の面積を誇る太陽温水ソーラー装置を設置している。ソーラー熱の利用により、重油の消費量は従来の4分の1程度に減らすことに成功した。「環境問題には医療関係者が率先して取り組む必要があると思う」



玄関から入ってすぐ左手に総合案内がある。明るく温かい雰囲気を大切にしている

と星野理事長は話す。

同院が長年にわたって地域の信頼を獲得し続ける背景には、医療環境の充実に向けたたゆまぬ努力とともに、人や自然に「優しい病院」であるためといえるだろう。

(本誌編集部・岩崎知行)



このほど、各部署の課題の発表会が行われた。第三者評価を取得しても、継続的に課題解決を図る取り組みだ

福島第一病院の概要

(06年11月現在)

※03年12月、日本医療機能評価機構の認定取得

診療科目：内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、リウマチ科、外科、整形外科、心臓血管外科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、歯科

病床数：285床（療養を含む）

スタッフ数：医師13人、看護職員97人、薬剤師5人、理学療法士5人、作業療法士2人など計256人

入院基本料：一般13：1

1日平均外来患者数：186人

病床稼働率：92%

住所：〒960-8251 福島市北沢又字成出16-2

TEL：024-557-5111

FAX：024-557-5064

URL：http://www.daiichihosp.jp